

# やすらぎだより

4  
月  
号

陽気で緑にあふれた生活 それがやすらぎ園です

コラム第130号

## 「浮かばない三案」

施設長 植田 誠



新たな年度を迎えるこの時期、無い知恵を絞らなければならないことが幾つかある。例えば、その年度の法人スローガンを三案提案すること。キャッチコピーを考えることにはたけていると過信したうぬぼれがちな私は、13年前のこの時期声高らかに始めた。

当初は、‘内ら’のこととして細々と続けられたら良いと軽く考えていたが、最近では有難いことに「ホームページを見てスローガンを知った」と言われる見ず知らずの方からご意見をいただく、身の程知らずの過度な意識で‘それなりの’ものをと欲張ってしまう。しかし、所詮こういうことは、考えるものではなく浮かんでくるものだ。浮かばないものはしょうがない。

「あくまで‘案’の提示、決めるのは職員会」  
いつもの諦めと妥協癖がふつつつとわいてきた。

とは言うものの、毎回テーマを設けて思考する。平成27年度法人としては言わずもがな「40周年」、そこで浮かんだのがこの三案

A案 「必要とされる人 期待に答える私 積み重ねる信頼と実績」

B案 「見えてくる姿 大切な声 成ってくるのが天の理」

C案 「40年 変わらぬ真実 あくなき挑戦」

職員会に於ける即行の多数決、熟慮した時間があっけない程簡単に決まった。過半数の賛同を得たC案だった。個人的な見解はやめよう、これまでもそうであったように。

この一年、職員ではない方々から意外なほどC案の称賛をいただくと、熟考した汗が報われたように思う。「浮かばない者は汗をかけ」、これからは肝に銘じよう。

今日は3月31日、明日が恒例の職員会。テーマは「原点」、汗をかいた？以下の三案を提議する。

A案 「この時旬 先を見据えた変革と ゆるぎのない継続を！」

B案 「重ねます 日々の真実 目指します 陽気なくらしを！」

C案 「これまでも これからも 謙虚に そして真っ直ぐに！」

良ければ、結果をHPでご確認いただければ。あくまで良ければ。



### 社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

○特別養護老人ホーム やすらぎ園

○在宅サービス事業所

居宅介護支援事業所

訪問介護事業

訪問入浴介護事業

○短期入所生活介護事業

○在宅介護支援センター

○天理市東部地域包括支援センター

○ケアハウス やすらぎ

○介護予防関連事業

○グループホーム むつみあい

○天理市ひとり暮らし

高齢者世帯等見守り事業

○低所得高齢者等住まい・

生活支援モデル事業